

会 議 録

会議名	平成 27 年度 第 2 回 丸亀市未来を築く地域戦略会議
開催日時	平成 27 年 7 月 1 日 (水) 13 : 30 ~ 15 : 40
開催場所	丸亀市役所 本館 2 階第 3 会議室
出席者	<p>(出席した委員)</p> <p>村山 卓 糸杉 宗州 田岡 洋司 高木 和代 中田 陽子 善勝 光一 三谷 雄治 明石 安哲 新川 裕司 西川 真智子 守家 敬子 高木 明美 奥田 徹 松井 信子 伊藤 智也 三井 喜代子</p> <p>(欠席した委員)</p> <p>漆原 光徳 日野 明世 横田 幸司 佐藤 国夫</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p>市長公室長 山田 哲也 政策課長 大喜多 章親 政策課副課長 富士川 貴 政策課担当長 志村 芳隆 政策課主査 真鍋 裕章</p>
議 題	<p>1. 丸亀市人口ビジョン及びアンケート調査等について</p> <p>2. 丸亀市未来を築く総合戦略の施策等について</p> <p>3. その他</p>
傍聴者	3 名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
大喜多政策課長	<p>ただ今より、丸亀市未来を築く地域戦略会議を開会いたします。本日は、大変お忙しいところをご出席いただき、ありがとうございます。早速ですが、ここからの会議進行につきましては、丸亀市附属機関設置条例第 7 条の規定に基づき、村山会長にお願いいたします。</p>
村山会長	<p>それでは会議を進めさせていただきます。本日の会議は、委員総数 20 名中 16 名のご出席をいただいておりますので、丸亀市附属機関設置条例の規定により、会議が有効に成立していることをご報告しておきます。</p> <p>本日の議事は、「丸亀市人口ビジョン及びアンケート調査等について」「丸亀市未来を築く総合戦略の施策案について」「その他」の 3 点です。まず、議事の 1 「丸亀市人口ビジョン及びアンケート調査等について」事務局の説明を求めます。</p>
大喜多政策課長	<資料に基づいて説明>
村山会長	ご意見、ご質問等があればお願いします。

伊藤委員	若い世代用のアンケート調査について、Uターン等に直接関係する県外への進学者には実施できませんか。
大喜多政策課長	県外大学生等への実施について興味はあるのですが、住所の把握など課題もあり、現時点では、市内の高校等に在籍する人を対象としています。今後、成人式など市の行事を活用して調査するなど何らかの方法を考えてみたいと思います。
村山会長	これからは、県外に出て行った若い人たちに帰って来ることを働きかける仕組みづくりが必要と思います。
三谷委員	人口推計の市独自のパターンはどのような前提を考えていますか。
政策課富士川	本市の合計特殊出生率は、国や県よりも高く、社会動態についても、県のように転出超過が続いているという状況ではありませんので、それらを勘案して、県の推計よりは緩やかな減少、イメージとしては、国や県の目指す合計特殊出生率 2.08 への到達が少し早くなることや社会増減のプラスを目指すという方向を考えています。
村山会長	人口推計の市独自パターンについては、どこを目指していくかという意味で、この会議でも意見を出していくべきと思います。
高木明委員	一般用と若い世代用のアンケートは、どのように行いますか。また、一時的に県外に出ている人に当たった場合は、家族が答えるようになるのですか。
政策課富士川	一般用は、15～49 歳の市民のうち無作為抽出の 3,000 人に郵送します。若い世代用は、市内の高校等に直接お願いに行きますので、両方に当たるケースもあると思います。また、回答は当たった個人にお願いすることになりますので、県外に出ているような人の場合は、回収は難しいと考えています。
高木和委員	若い人でも、県内にいる子と県外に出た子、また、市内の居住地域によっても状況は様々だと思いますので、アンケートなどで幅広く意見を集めて欲しいと思います。そういった意見の中から、人口ビジョンや総合戦略で打ち出す丸亀の良いところを見つかけられると良いと思います。
三谷委員	人口推計について、合計特殊出生率や社会増減の仮定をしたものだけでなく、年齢区分ごと推移など、より緻密な推計が必要と思いますが、どう考えていますか。
政策課富士川	いろいろな角度から分析するために、年齢 5 歳刻みや地域別の推計を行う予定にしています。

田岡委員	若い世代用のアンケートにある「丸亀への愛着」の項目は、これから若い人たちに丸亀に残ってもらうことを考えるときに重要になるので、もっと詳しく、掘り下げて聞いた方が良いのではと感じます。
糸杉委員	複数回答可の設問でも、優先順位を明らかにした方が集計や分析をしやすいのではないですか。
大喜多政策課長	ご意見を参考にしたいと思います。
村山会長	これらのアンケートは、今月中に実施するという事なので、この会議でも結果を参考にしたいと思いますですが、どうですか。
政策課富士川	次回の会議で、アンケート結果の概要をお見せできるようにします。
村山会長	他にないようですので、続いて議事の2「丸亀市未来を築く総合戦略の施策案について」事務局からの説明をお願いします。
大喜多政策課長	<資料に基づいて説明>
村山会長	また、本日の会議では、新川委員から追加で資料をいただいておりますので、ここで、新川委員から資料について説明をお願いします。
新川委員	<資料に基づいて説明>
村山会長	では、ご質問やご意見などはありますか。
明石委員	基本目標の「魅力を高める」では、丸亀の良いところを宣伝しよう、さらに磨こうという取組が必要になると思いますが、根本的な丸亀の魅力を考えるような取組が足りないように思います。例えば、丸亀城には、石垣だけではなく、鳥居耀蔵が暮らしたという物語もありますが、丸亀の人たちにもあまり知られていません。そういった地域の持つ資源をきちんと掘り起こして、光を当て、他所の人たちにも、丸亀の人にも知ってもらい、愛着を持ってもらうことが大切と思うので、そういった取組をぜひ入れて欲しいと思います。
村山会長	城下町というのは、それだけで大変な財産です。丸亀のそういった優位性を生かしていくことは大切になると思います。

大喜多政策課長	これからの議論の参考にしたいと思います。
善勝委員	総合戦略を考える上では、創業支援や観光のほかに農業も大きなキーワードになるように思いますが、どのように考えていますか。
大喜多政策課長	分科会では、農業関係の事業が出ておらず、今のところ、非常に薄い分野になっています。これから内容を厚くしていくためにも、いろいろとご意見をいただきたいと思っています。
高木和委員	郷土に愛着を持ってもらうために、丸亀出身で活躍している人が母校などで講演するという取組はどうでしょうか。丸亀の人材育成力をPRすることにも繋がると思います。
守家委員	子どもが県外に出た時に、外の人から猪熊弦一郎現代美術館を誉めてもらったことをきっかけに、帰省したときに美術館に通うようになりました。ここに住んでいるときには当たり前で気づかない良いものを、外部の人から気づかされることもあるし、若い子が外に出たときに自慢できるものがあれば、また帰って来たいという気持ちが湧きやすいと思いますので、丸亀が外に向けても誇れるものを丸亀の人に知ってもらうことが大切と思います。
高木明委員	総合戦略では、人口減少を抑えるということと丸亀市の活性化の両面から考えていかなければならないと思いますが、例えば、丸亀に居たいと思っているのに、進学や就職先を選ぶときの選択肢が少ないために、出て行かざるを得ない子どもがいるという現状がある一方で、子育て世代や高齢者へのサービスの水準は決して低くはないというような年代別に異なった状況がある中で、どの世代に力を入れるかも考えるべきだと思います。すべての世代が対象、全国一律みたいなやり方ではなく、他とは違う丸亀はここに力を入れているということが分かる戦略、丸亀に住んでもらうために丸亀ならではの何かを見出せるような戦略にすべきだと思います。
村山会長	丸亀は、宇多津と並んで非常に合計特殊出生率が高いです。最高級の子育て支援を行っているということではないにもかかわらず、なぜ子育て世代の支持があるのかということ进行分析できれば、丸亀の伸ばすべき点も見えてくるのではないかと思います。
守家委員	資料を見ると、交通事故の状況が県内でも圧倒的に悪いのは、なぜでしょうか。
糸杉委員	転勤でいくつかの地方都市で暮らしてきましたが、丸亀市の暮らしやすさを実感しています。ただ、交通マナーの悪さや交通量の割に道路が狭いという感じを受けますので、公共交通で補える部分ができれば状況も良くなる可能性もあると思います。

明石委員	移住意向調査で、若い世代に香川の人気の高いのはなぜでしょうか。
守家委員	香川県の「うどん県」のPRや「瀬戸内国際芸術祭」の影響があると思います。
高木和委員	このところ大都市圏での香川の認知度が上がっていると感じます。また、東日本大震災以降、岡山や香川といった自然災害の危険の少ない瀬戸内地方が人気になっていると思います。
村山会長	多くの意見をいただきましたが、その他に全体的な意見などありませんか。
中田委員	全体的に、外から丸亀に呼び込もうということは分かるのですが、なぜ丸亀から外に出るのかということについての検証が薄いように感じます。
糸杉委員	私たちの大学校では、地元就職する子が多いですが、身に付けた技術を生かすため大都市に職を求めの子が出て来るのは、ある程度は仕方のないことと思っています。ただ、地元の良い企業が知られていないという状況は、良くないと思います。
三井委員	丸亀だけの企業説明会は行っていますか。県下一斉になると高松に引っ張られると思うので、丸亀に帰ってきて欲しいなら、丸亀だけで行う方が良いと思います。
大喜多政策課長	昨年、定住自立圏域での合同就職説明会を始めました。就職説明会のやり方などについては、意見を参考に、充実を図りたいと思います。
西川委員	関西の大学と香川県が就職協定と結んでいると聞いていますが、丸亀市が同じように大学等と協定を結んで、地元企業の求職情報をいろいろな大学に流すといった取組はできないのですか。
大喜多政策課長	定住自立圏として、香川大学や四国学院大学、四国職業能力開発大学校とは包括的連携・協力に関する協定を結んでいますので、それに加えて、今の意見も視野に入れた取組を考えたいと思います。
村山会長	短時間の説明会だけでなく、じっくりと見られるインターンシップなどを充実させることも効果的だと思います。
松井委員	大学や学生はインターンシップを望んでいますが、なかなかそこまでたどり着けないという現状があるようなので、丸亀市の企業ならインターンシップができるという働きかけがあると違って来るように思います。

大喜多政策課長	市役所でも大学側からの問い合わせを受けて、インターンシップ制度を作った経緯があります。それが企業にも広がるように考えたいと思います。
奥田委員	人口が減ることがどうしていけないのかと思っています。子どもを安心して産み育てる環境をつくることは、丸亀だけでは難しく、国との協調がないと進められません。また、人口が減ることによるメリットもあるはずですし、そういった状況でもやっていける社会をつくることも大切です。ただ、人口が減っても魅力ある丸亀をつくるという方向は見失ってはいけないと思います。
村山会長	結婚や出産、子育てについて国民の希望が叶えられれば、人口は減少しなくなるという国の考えがある中で、地方としてもどうするかを考えることで、これから市民にとっても、まちづくりにとっても良い方向に進んでいくようになることが重要と思います。意見も出尽くしたようなので、「その他」で何かありますか。
大喜多政策課長	次回の会議は、アンケート集計の進捗や施策の取りまとめを見ながら、日程を決定したいと思いますので、よろしくお願いします。
村山会長	では、次回会議は日程調整までき次第、連絡することとして、以上で本日の会議を終了します。